

2019学年度

学校評価 結果報告書

学校法人金剛学園

金剛学園小学校

2019年度 金剛学園小学校 学校評価

1. 目指す学校像

韓国系国際学校として多様な国籍の児童がいる中で、お互いの文化や背景を尊重しながら、国際人意識を深め、日本と韓国は勿論、世界に広がる人材を育成できる学校を目指す。また、多様な夢を共に実現できる場を提供する学校づくりのために努力すると同時に、正しい人格と実力を備えた人材育成を図ることを目指している。

- ・豊かな国際感覚の育成
- ・温かい心、人間性の育成
- ・確かな学力の育成
- ・教育環境の充実

2. 中期的目標

1. 豊かな国際感覚の育成

- ① 韓国語の語学力を向上させる。また韓国語能力試験対策を行い、より高い資格を習得できるようにする。國人プログラム（韓国の大学生が行うプログラム）の実施。
- ② 英語の語学力を向上させる。また英語検定力試験対策を行い、より高い資格を習得できるようにする。
- ③ 国際的な行事や語学活動を通し豊かな国際感覚を醸成する。
(旧正月行事・韓国語弁論大会・ハロウィン)

2. 温かい心、人間性の育成

- ① 礼儀正しく、規則を守り、基本的な生活習慣を持つ子どもを育てる。
- ② 人権教育の推進を図り、相手の立場を理解できる思いやりのある豊かな人間性を育む。

3. 確かな学力の育成

- ① 基礎・基本となる学力の定着を図る。(算数分班授業、日本語・韓国語基礎補習授業の実施)
- ② 分かる授業を行い、学習内容を確実に習得出来るように教材研究をする。
- ③ 補習授業の充実(算数応用、国語応用、算数基礎、国語基礎、韓国語基礎補習授業を行い学力向上を図る。)

4. 教育環境の充実

- ① 教育環境の充実(各教室にノートパソコン・電子黒板を設置、iPad40台を完備、PC室のノートPC充実)
- ② 安全教育の充実(安全教育研修実施、防犯カメラ設置、AED設置、防災セット完備、スクールバス運行、下校指導・避難訓練(火災・地震・津波))

3. 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期的な目標	今年度の重点目標	具体的の取り組み計画内容	評価指標	自己評価
I 豊かな国際感覚の育成	① 語学力の向上 (韓国語)	<ul style="list-style-type: none"> ・能力に応じた3班編成で授業を実施。 ・日常生活は韓国語で会話が出来る力を養う。 ・韓国語能力試験の対策はレベル別に2クラスに分班。 ・校内での韓国語使用率を増やす。 ・1年の算数は韓国語イマージョン教育を導入する。 ・韓国に触れる機会(行事)を作る。(國人プログラム) ・韓国語基礎補習授業実施 	<p>韓国語能力試験(TOPIK)、校内韓国語試験の結果、校内での韓国語使用頻度、韓国語弁論大会のレベルなどを指標とする。</p> <p>また、転入生の韓国語習得も指標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語能力試験受験者36中32名(88.9%) 1級11名、2級12名 3級1名、4級3名 ・校内韓国語弁論大会に4～6年生が積極的取り組み、中級・本国班ではレベルの高い弁論大会にすることができた。初級の取り組みをもっと積極的にしなければならない。 ・教科担当のみならず、韓国語しか通じない場面を設定することで児童たちの韓国語能力が向上した。
	② 語学力の向上 (英語)	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業を全学年3時間確保する。高学年はそのうち1時間を英検の授業とする。 ・すべての授業をレベル別の分班授業とする。(2班分け) ・4～6年生は英語検定試験を受験し、各学年にあった級の合格を目指す。 	<p>英検の結果、英語の考査、授業での英語使用頻度、習熟度を指標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の学力に差があり、習熟度別に授業を編成することで満足度の高い授業が展開できた。 ・英検の授業で能力別に3班分けの授業を実施した結果、英語検定の合格率が高かった。46人中31名(67.4%)が合格。 ・教師が開発した多様な教材を活用することで、授業に興味を持つ児童が増え、語学向上の効果がみられた。
	③ 国際感覚の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・旧暦正月行事を行う。韓国の伝統的な正月を知る。 ・韓国語弁論大会の実施。全校児童の前で韓国語の発表を行う。 	<p>韓国の伝統的な正月の理解、韓国語の発表のレベルを指標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内韓国語弁論大会に4～6年生が積極的取り組み、中級・本国班ではレベルの高い弁論大会にすることができた。初級クラスの取り組みをもっと積極的にしなければならない。

<p style="text-align: center;">2</p> <p style="text-align: center;">温かい心、 人間性の育成</p>	<p>① 礼儀正しく、規則を守り基本的な生活習慣を持つ子どもを育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで正しい姿勢で元気に挨拶ができるように指導する。 ・登下校のマナーを守ることや安全について指導する。 ・授業の準備等の指導をする。 ・時間を守れるように指導する。 ・校内のルールを守るよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員だけでなく保護者や来客にも挨拶できるように。校内だけでなく駅員など校外でも挨拶ができるようになる。 ・公共マナーを守るようになる。 ・授業開始時には準備を終わらせ着席できる。 <p>上記のことが主体的にできるように。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶が習慣化している児童とそうでない児童の差が大きく主体的に挨拶するための対が必要。 ・教師が集団下校を引率しているため、最寄り駅でのマナーは良い。教師がいなくてもマナーを守れるよう児童の主体性を引き出す指導が必要。 ・大半が授業準備、時間を守る習慣ができています。 <p>*全てにおいて児童が主体的に行えるよう指導することが必要。</p>
	<p>② 人権教育の推進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな学校行事や活動を縦割り班で行い、思いやり・協調性を養う。 ・異学年交流を行い、リーダー育成を図る。 ・人権講演会や人権学習を通して、相手の立場を理解する豊かな人間性を育てる。 ・小5・6年生はエゴグラムを行い、自分の性格特徴を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割り活動を多く設定し、円滑に行えるように縦割り班でレクリエーションを行う。 ・異学年交流を通してリーダーとしての資質を育てる。 ・違いを認め自他ともに大切にすることを指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会の役割、児童会活動の内容を見直し、児童たちが主体的に活動できるような活動を行うことができてきた。今後も児童が中心になって活動を行う。 ・縦割り活動を通して上級生は下級生を思いやり、下級生は上級生にあこがれる関係を築くことができた。 ・いろんな場面でリーダーの役割をすることで自信が持てた児童が増えた。 ・人権学習を通し障害を知ることにより、他人や自分の立場を知り、自他を尊重する気持ちが持つことができた。 ・自分を知ることによって相手を理解する心を持つことができた。

3 確かな学力の育成

<p>① 基礎・基本となる学力の定着を図る。(算数分班授業、日本語・韓国語基礎補習授業の実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 算数は教師2人体制のTTで授業を行う。 2年生の算数は習熟度の差があるので、分班授業を行う。 韓国語基礎補習授業、日本語基礎補習授業、算数基礎補習授業を行う。 夏休み集中補習授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> つまづきをすぐに発見しきめ細やかな指導を行うことで意欲、習熟度を高める。 夏休み集中補習授業は、少人数クラスでレベル別に授業を実施し、学力向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 算数の授業を2人体制で行うことで授業内容を理解しているか確認することができ、また、学力向上につながった。 習熟度の差がある学年は、分班授業にしたため理解力が向上した。 校内テストを年3回実施して児童の学力を把握し、到達度に達していない児童には個別指導を行うことができた。
<p>② 分かる授業を行い、学習内容を確実に習得できるように教材研究をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の研修に参加して指導力アップを図る。 算数は3～6年に専科教員を配置し、系統立てた授業を展開する。 「主体的・対話的で深い学び」を実現する。 電子黒板、タブレットを活用して、楽しく分かりやすい授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が見通しをもって粘り強く学習に向かい、考えを広げ、深め、思考・判断・表現をさせる場面を効果的に設計し指導する。 電子黒板やタブレットを導入、活用することで学習意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> TT授業、分班授業を行い、児童のつまづきに気付き対応することができた。各教科で積極的に教材(PPT等)を作成し、児童の興味関心を引き出すことができた。 「主体的・対話的で深い学び」を実践するために教師の授業力を高める必要がある。研修等に積極的に参加が必要。 電子黒板の活用は積極的であるが、タブレットの活用は消極的であった。
<p>③ 補習授業の充実(算数応用、国語応用、算数基礎、国語基礎、韓国語基礎補習授業を行い、学力向上を図る。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 開成教育グループとの契約により算数・国語補習授業を行う。 算数基礎補習授業を実施。 日本語、韓国語の苦手な児童に基礎補習授業を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内算数試験、校内国語試験の結果等を指標とする。 基礎補習授業をすることにより各教科の苦手意識を払拭し、関心意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校教師以外の外部講師の授業を受けることで意欲関心が高くなったが、出席率が低く、一部の児童にしか成果がなかった。 基礎補習授業を行うことで、通常の授業でも学力向上がみられた。

4 教育環境の充実	① 電子機器の充実	<ul style="list-style-type: none"> 各教室にノートパソコン・電子黒板を設置し、児童に見やすく分かりやすく、楽しい授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> パワーポイント等で作成した教材を活用し、児童に興味、関心を持たせ、学習意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 韓国語・英語・韓国社会で効果が大きく、児童が興味、関心を持ち、積極的に学習に取り組むことができた。
	② 安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラ設置 AED設置 AED研修実施 スクールバス運行 下校指導 防災セット完備 避難訓練実施(火災・地震・津波対応) 	<ul style="list-style-type: none"> 登下校時にスクールバスを運行し、児童の通学を安全に行う。 救急救命講習を全教職員が受講。 1日に3回、最寄りの駅まで教師引率し集団下校を実施。児童が電車に乗るまで見届ける。 1年に3回避難訓練及び、訓練前の講習を行う。 全校児童の防災セットを完備。 	<ul style="list-style-type: none"> 不審者の侵入等の事件は一度もなかったが、防犯カメラの設置は、抑止力になっていると考えられる。 今年一年間事故がなく、車内でのケガもなく、安全に運行できた。 最寄りの駅までの集団下校を教師が引率することで事故やトラブルが一度もなかったが、登下校時の児童への苦情があったので対策を練る必要がる。 訓練前に児童に講習することで、目的意識を持って真剣に避難訓練に取り組むことができた。

4. アンケート実施時期と回答率

対象	実施日	回答/回答率
児童	2020年2月19日(水)	4～6年 55名/54名 回答率98.2%
保護者	2020年1月28日(火)～1月31日(金)	小学校63世帯/75世帯 回答率84%
教師	2020年1月17日(金)～1月31日(金)	14名中14名 回答率100%

2019学年度 金剛学園小学校

学校評価アンケート結果の分析と対策

【児童のアンケート】

*数値はすべて%

A:よくあてはまる B:あてはまる C:ふつう D:あまりあてはまらない E:まったくあてはまらない

		A	B	C	D	E
1	学校に行くのが楽しい。	27.3	32.7	30.9	9.1	0
2	友だちとなかよくしている。	52.7	36.4	5.5	5.5	0
3	授業は楽しい。	16.4	45.5	36.4	0	1.8
4	授業は、わかりやすい。	29.1	49.1	20	1.8	0
5	家で学習や読書をしている。	18.2	23.6	40	10.9	7.3
9	学校でいろいろなルールを守る大切さを学び、守っている。	14.5	43.6	40	0	1.8
11	毎日十分なすいみんをとっている。	23.6	30.9	25.5	18.2	1.8
12	毎日朝ごはんをたべている。	69.1	16.4	9.1	3.6	1.8
16	安全に通学している。	67.3	25.5	5.5	0	1.8

【保護者のアンケート】

*数値はすべて%

		A	B	C	D	E
1	学校の教育方針が明確である。	39.7	42.9	11.1	6.3	0
2	学校は、他校にない独自の教育活動を行っている。	65.5	25.9	5.2	3.4	0
3	学校は、教育活動や子どもの様子を、学級通信・ホームページ等を通して伝えている。	51.7	37.9	8.6	1.7	0
7	学校は、学校生活で問題が生じたときに、迅速・的確に対応している。	33.3	31.7	22.2	12.7	0
9	学校は、韓国文化を学ぶ機会を設けている。	74.6	17.5	7.9	0	0
10	学校は、語学教育に取り組んでいる。	65.1	23.8	11.1	0	0
13	学校は、いじめや不登校のないように取り組んでいる。	28.6	36.5	27	6.3	1.6
19	お子さんは、基本的生活習慣が身についている。	25.9	51.7	15.5	5.2	1.7
24	お子さんは、進んで宿題をする習慣がついている。	30.2	33.3	22.2	12.7	1.6
26	お子さんは、連絡帳などで宿題や準備物を確認している。	25.4	36.5	23.8	11.1	3.2

【教職員のアンケート】

*数値はすべて%

1	建学の精神が教職員、生徒、保護者など学校関係者によく浸透している。	8.3	50	41.7	0	0
2	学校の教育目標を教職員、学校関係者が理解している。	41.7	50	8.3	0	0
17	韓国語、英語、日本語のトリリンガル教育に十分取り組み、語学能力の育成を図っている。	33.3	66.7	0	0	0
18	自己のルーツを知り、誇りと自信を持って、自ら行動できる生徒の育成に取り組んでいる。	25	75	0	0	0
19	他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	25	58.3	8.3	8.3	0

〈分 析〉

小学校では4～6年生がアンケートようさを実施した。

1～4の項目から学校に行くことが楽しく、友だちと仲良くし、授業が分かりやすく、楽しい授業を受けている児童が大半である。しかし、そう思わない児童が僅かではあるが、理由を調査調査する必要がある。

9の項目で学校でいろいろなルールを守る大切さを学び、守っているに殆どが思う以上の結果になっているが、登下校のや校内での様子を見るとまだまだできていないことがある。自分の行動を自覚できていない児童がいる。

5の項目で分かるように家庭学習が定着していない児童がいるので、定着するようにしたい。11の項目で十分な睡眠をとっていない児童が見られ、12・16の項目では僅かであってもD・Eがあってはいけない。

〈対 策〉

学校では日頃から校内（HR・授業・休み時間）で児童の様子を観察し、また記名式で学校生活・家庭生活アンケートを実施し、児童の実態を知るように努めている。少しの変化でも学校・家庭と共有し児童がのびのびと学校生活が送れるようにしたい。

「7つの習慣」を教師が実践し、児童がそれを学び、児童たちが主体的に考え、なぜ学習が必要か、なぜルールを守る必要があるのかを理解し、家庭と協力しながら良い生活習慣が身につくよう指導したい。

〈分 析〉

小学校では全保護者を対象にアンケート調査を行った。

保護者は学校の教育方針をよく理解しており、本校の教育目標である語学教育（英語・韓国語）の取り組みについてよく理解している。また独自の教育活動や韓国文化の体験等もよく理解している。

また学校の教育活動は随時発信しており、保護者から高い評価を得ている。学校での問題の対応、いじめ・不登校対策等の項目で僅かでもD・Eがあった。

19・24・26の項目で学習等の生活習慣が身につけていない児童が見られる。

〈対 策〉

本校の教育目標でもある語学教育が保護者に認められており高い評価を受けていることは、韓国語能力試験・英検の結果や児童の習熟度を保護者が理解下からであるので、来年度も良い結果が出るよう語学教育に重点を置き力を注ぎたい。

7・13の項目、学校での問題の対応、いじめ・不登校対策等で低い評価があった。保護者との連携を密にしなければならない。

児童が良い生活習慣を身につけるために家庭と協力し指導する。

保護者対象に「7つの習慣」の講演を行う。

〈分 析〉

校内研修を重ねることで、教職員に建学の精神が浸透している。また、金剛学園小学校の教育目標を教職員が十分理解している。

【語学力（英語・韓国語） 国際理解（他国の文化、歴史の理解・韓国文化、歴史理解）自己のルーツ】

〈対 策〉

金剛学園小学校3ポリシーが策定された。教師がさらに意識改革をし、そのポリシーを児童の指導に生かす。

「7つの習慣」を教え、児童が主体的に活動する金剛学園小学校の文化を創る。

2019学年度 金剛学園小学校 学校評価アンケート結果（教職員）

実施日：2020年1月17日（火）～1月31日（金） 対象教師数：14名中14名

A：よくあてはまる B：あてはまる C：ふつう D：あまりあてはまらない E：まったくあてはまらない

分類	評価項目	設 問	A	B	C	D	E
学校運営	建学の精神について	建学の精神が教職員、生徒、保護者など学校関係者によく浸透している。	8.3	58	25	8.3	0
	学校の教育目標について	学校の教育目標を教職員、学校関係者が理解している。	8.3	42	42	8.3	0
	愛校心について	在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。	17	67	17	0	0
	学習指導要領の対応状況	教育課程は学習指導要領に沿っている。	8.3	75	17	0	0
	教育計画について	年間を通じた教育計画を各教科別に立てているが、それを確実に実践している。	17	58	17	8.3	0
	教員・教科間連携状況	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	8.3	42	33	17	0
	教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。	8.3	42	50	0	0
	会議の有効性	教職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している。	0	58	33	8.3	0
	財務に関する意識	学校の経営指標と財務状況について理解している。	0	33	25	33	8.3
	財務状況の把握について	予算、決算の収支の状況について理解している。	17	8.3	42	25	8.3
	評議員・理事会機能について	評議員会、理事会の役割や機能について理解している。	8.3	25	50	8.3	8.3
	ホームページの活用状況	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。	50	50	0	0	0
	授業公開状況	保護者などへ授業を公開している。	58	42	0	0	0
	役割分担について	事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。	17	58	25	0	0
	危機管理対応状況	危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。	8.3	67	25	0	0
	地域交流について	地域や地域住民との交流ができています。	0	17	42	42	0
教育内容	語学能力の育成	韓国語、英語、日本語のトリリンガル教育に十分取り組み、語学能力の育成を図っている。	25	75	0	0	0
	アイデンティティー教育	自己のルーツを知り、誇りと自信を持って、自ら行動できる生徒の育成に取り組んでいる。	8.3	75	17	0	0
	国際理解	他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	42	50	8.3	0	0
	情報能力育成	生徒の情報活用能力の育成を図っている。	8.3	50	42	0	0
	情報モラル指導	情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分取り組んでいる。	0	75	25	0	0
	研究体制	人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を教員が研究する体制がある。	0	42	42	17	0
	教育体制	人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。	0	42	50	8.3	0
環境問題意識向上	ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育を行っている。	0	33	50	17	0	

A：よくあてはまる B：あてはまる C：ふつう D：あまりあてはまらない E：まったくあてはまらない

分類	評価項目	設 問	A	B	C	D	E
教育内容	実践的態度の育成	生徒に清掃、校内美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にすることを育成している。	17	67	17	0	0
	健康・食に関する指導について	健康教育、食育などにも配慮している。	0	42	42	17	0
	生徒会活動支援状況	生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	0	67	25	8.3	0
	生徒会活動の充実	生徒会行事を活性化させるため、生徒へ積極的な参加を促している。	0	33	58	8.3	0
	読書推進	図書室の利用促進など読書指導に取り組んでいる。	8.3	8.3	58	25	0
	部活動	部活動は活発である。	17	50	8.3	17	8.3
	ボランティア	ボランティア活動は活発である。	0	0	58	25	17
	学校行事	体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。	67	33	0	0	0
	スポーツ・芸術文化	スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている。	17	58	17	8.3	0
	指導方針の一貫性	生徒指導は学校の方針に従っている。	17	75	8.3	0	0
生活指導・支援	生活指導について	生徒の生活指導に組織的に対応する体制がある。	17	67	0	17	0
	安全教育と規範意識の高揚	校内巡視や登校指導、校外補導を定期的実施し、事故を未然に防ぐ体制がある。	25	42	25	8.3	0
	家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携ができています。	17	42	33	8.3	0
	学習指導について	学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。	0	83	17	0	0
	学習習慣の定着	定期テストや各種検定試験前に自主学習の時間などを設定し、学習習慣の定着に対する支援体制がある。	0	67	17	17	0
	カウンセリング体制	カウンセリングによる支援体制がある。	8.3	67	8.3	17	0
	進路指導について	生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある。 進路決定への適切な情報伝達と支援体制が整っている。	0	33	67	0	0
資格取得の充実	資格取得の支援体制が整っている。	42	50	8.3	0	0	
教員研修・資質向上	教員資質向上について	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。	8.3	50	42	0	0
	校内研修	効果的な校内研修を立案し、教職員に実施している。	0	58	25	17	0
	初任者のサポート状況	初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。	8.3	50	42	0	0
	校外研修	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。	8.3	50	42	0	0
	研修成果の共有状況	研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。	0	58	33	0	0

2019学年度 金剛学園小学校 学校評価アンケート結果

【児童アンケート結果】

・実施日：2020年2月19日（水）

・対象児童：4年：20名 5年：17名 6年：18名 合計55名中54名(回答率98.1%)

A：よくあてはまる B：あてはまる C：ふつう D：あまりあてはまらない E：まったくあてはまらない

		A	B	C	D	E
1	学校に行くのが楽しい。	27.3	32.7	30.9	9.1	0
2	友だちとなかよくしている。	52.7	36.4	5.5	5.5	0
3	授業は楽しい。	16.4	45.5	36.4	0	1.8
4	授業は、わかりやすい。	29.1	49.1	20	1.8	0
5	家で学習や読書をしている。	18.2	23.6	40	10.9	7.3
6	先生は、自分のことを理解してくれている。	25.5	36.4	36.4	0	1.8
7	宿題や準備物などを忘れないようにしている。	36.4	36.4	23.6	3.6	0
8	進んであいさつをしている。	38.2	29.1	27.3	3.6	1.8
9	学校でいろいろなルールを守る大切さを学び、守っている。	14.5	43.6	40	0	1.8
10	だれに対しても思いやりをもって接している。	16.4	47.3	34.5	0	1.8
11	毎日十分なすいみんをとっている。	23.6	30.9	25.5	18.2	1.8
12	毎日朝ごはんをたべている。	69.1	16.4	9.1	3.6	1.8
13	体育大会、校外学習、生活発表会、金剛まつりなどの学校行事は楽しい。	81.8	12.7	3.6	0	1.8
14	係や当番の仕事、委員会活動などをがんばっている。	20	30.9	32.7	14.5	1.8
15	クラブ活動に積極的に取り組んでいる。	38.2	40	10.9	1.8	9.1
16	安全に通学している。	67.3	25.5	5.5	0	1.8
17	地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを学んでいる。	50.9	38.2	10.9	0	0
18	学校からの案内文をおうちの人にわたしている。	52.7	27.3	16.4	3.6	0
19	学校であったことをおうちの人に話している。	32.7	20	27.3	12.7	7.3
20	教室・特別教室・運動場の施設などは、使いやすい。	54.5	25.5	20	0	0

【保護者アンケート結果】

・実施日：2020年1月28日（火）～1月31日（金）

・対象家庭：73家庭中63家庭（回答率84%）

A：よくあてはまる B：あてはまる C：ふつう D：あまりあてはまらない E：まったくあてはまらない

		A	B	C	D	E
1	学校の教育方針が明確である。	39.7	42.9	11.1	6.3	0
2	学校は、他校にない独自の教育活動を行っている。	66.7	25.4	4.8	3.2	0
3	学校は、教育活動や子どもの様子を、学級通信・ホームページ等を通して伝えている。	52.4	38.1	7.9	1.6	0
4	学校は、全教職員で協力し合い教育活動に取り組んでいる。	46	34.9	12.7	4.8	1.6
5	学校は、行事や授業参観・懇談会などを通して、子どもの学校生活の様子が分かるような機会を設けている。	61.9	28.6	7.9	1.6	0
6	学校は、より良い施設・教育の環境整備に努めている。	38.1	42.9	17.5	1.6	0
7	学校は、学校生活で問題が生じたときに、迅速・的確に対応している。	33.3	31.7	22.2	12.7	0
8	学校は、子どもの安全教育に努めている。	41.3	38.1	19	1.6	0
9	学校は、韓国文化を学ぶ機会を設けている。	74.6	17.5	7.9	0	0
10	学校は、語学教育に取り組んでいる。	65.1	23.8	11.1	0	0
11	学校は、子どもの学力向上に取り組んでいる。	41.9	40.3	17.7	1.6	0
12	学校は、健康・食事の大切さ、病気の予防について指導している。	39.7	36.5	22.2	1.6	0
13	学校は、いじめや不登校のないように取り組んでいる。	28.6	36.5	27	6.3	1.6
14	学校は、子どもたちの活躍する場を設けている。	46	31.7	22.2	0	0
15	学校は、守るべきルールやマナーを教えている。	39.7	33.3	25.4	1.6	0
16	学校は、クラブ活動に積極的に取り組んでいる。	37.1	33.9	24.2	3.2	1.6
17	学校行事は、みんなが楽しく行えるように工夫されている。	55.6	33.3	9.5	1.6	0
18	教師は、子どもに適切に対応している。	42.9	39.7	14.3	1.6	1.6
19	お子さんは、基本的な生活習慣が身についている。	28.6	49.2	15.9	4.8	1.6
20	お子さんは、楽しく学校に通っている。	57.1	28.6	12.7	1.6	0
21	お子さんは、安全に通学している。	50.8	34.9	12.7	1.6	0
22	お子さんは、きまりや約束ごとを守っている。	30.2	41.3	22.2	6.3	0
23	お子さんは、授業が楽しいと言っている。	36.5	34.9	23.8	4.8	0
24	お子さんは、進んで宿題をする習慣がついている。	30.2	33.3	22.2	12.7	1.6
25	お子さんは、宿題以外に進んで学習や読書をする習慣がついている。	14.3	20.6	41.3	17.5	6.3
26	お子さんは、連絡帳などで宿題や準備物を確認している。	25.4	36.5	23.8	11.1	3.2
27	お子さんは、学習塾に通っている。（算数・国語・英語・公文など）	20.6	19	6.3	6.3	47.6
28	お子さんは、学習塾以外の習い事をしている。（ピアノ・サッカー・スイミングなど）	30.2	23.8	6.3	1.6	38.1

学校関係者評価委員会報告

・実施日時:2020年7月4日(土) 午前10時~午後1時

・場 所:本校 会議室

・出席者

(教職員)

尹裕淑校長・鄭徳浩中高教頭・玄勝己小学校教頭・許應石事務長・花田昌美中高教頭補佐

(PTA実行委員会役員)

趙誠洙会長・上条和久副会長・宮本順美副会長・竹本昌子幹事長

(小学校)

・外国語(英語・韓国語)は検定試験の結果にも表れているように、イメージ教育の成果が出てきている。

・宿題及び家庭学習はいかに学校の授業を理解しているかに関わってくるので、授業中の理解度チェックには特に力を入れてほしい。

・学校独自の特色を発揮していることがよくわかった。

・緊急時にはミマモルメを活用し、児童の安全と健康には、引き続き重点をおいた指導をして頂きたい。

・少人数制の特色を生かし、一人ひとりの個性を伸ばす教育に今後も期待している。

・教員の指導力を上げるための研修などは、年に何回くらい、どのような内容で行っているのかが知りたい。

・勉強だけではなく、人間教育の部分でどのような取り組みを行い、その成果が出ているのかどうかも項目に加えてほしい。

・挨拶や礼儀、他人への思いやりのある人に育ってほしいと、私達、親は願っている部分と、また、勉強に興味を持って取り組んでほしいと、切実に願っているが、家庭との連携も必要であると、今回のデータを見て痛感した。この学校評価のデータをきっかけに、もっと家庭と学校との交流、連携ができるような機会を増やすことはできないか。例えば、校長による講演会など。

(中高)

・分析結果はあえて評価の低い項目に着眼し、弱点を克服しようと取り組んでいる学校の姿勢が強く感じられた。

・語学が強みであるにも関わらず、上達している実感をもっていない生徒が多いことに対する、次年度の対策(レベル別分班)を聞いて、今後の成果に期待している。

・アクティブラーニングを導入していることは知っていたが、なぜこんなに、主体性に関する項目が低いのか。次年度は「7つの習慣」を取り入れるということなので、具体的にどのような内容か、もう少し詳しく知りたい。

・授業がわかりにくいという生徒が中学で2割弱、高校で3割弱いることは、少し心配。先生方は授業の質を上げるための対策は次年度からではなく、早急に行ってほしい。

・少人数制なのに、生徒の3割から4割が先生に相談しやすいとは思っていないのはなぜか。いつも忙しそうにしている先生が多いと子供から聞いたことがあるが、生徒とは授業以外でどれくらい関わって下さっているのか。

・親としては、進路を見据えた学校選びをしたつもりでいたが、進路指導に満足している生徒が少ないようだ。

2020学年度は、進路に強い先生を採用したとのことなので、今後期待している。